

JEITA/ECALGA 標準 Ver2008A-Rev01 の主な変更点

2006年度に発行した JEITA/ECALGA 標準書では、利用し易さ、流し読みのし易さの観点から記述体系の是正を図るとともに全体の改訂を行い4分冊形式にしたが、今回の改訂では、サプライチェーン編の参照容易性を高めるためにビジネス辞書編をエンジニアリングチェーン編、サプライチェーン編とそれぞれ分冊化し、6分冊の構成とした。

さらに、サプライチェーン編ではBD定義をC I Iタイプ、XMLタイプと別々の章立てをとし、業務フロー、BD一覧、BD定義の順で参照しやすいものとした。サプライチェーン編ではこの他にコンサイメントモデルの正規標準化等によるCBC、BCの追加、改訂とともにビジネス辞書編の関連した改訂を実施した。

したがって今回は追加・改訂したCBC定義書、BC定義書、BD定義書のみを Ver2008A-Rev01 とし、改訂していない Ver2006A-Rev01、2007年度版、追補版と混在した標準書としているため、標準書全体は「JEITA/ECALGA 標準 2008年度版」と呼ぶこととした。また、今回の改訂すなわち2008年度版の発行は分冊1、2、3、4、5のみであり、分冊6は従来どおり Ver2006A-Rev01 を利用いただくこととした。

発行	分冊	編数	編 名	記述概略
2008 年度版 発行	1	I	解説編	標準の位置付け、概要、変更点
	1	II	技術編	システム、ネットワーク
	1	III	資料編	移行ガイド、全銀協メッセージフォーマット、ECセンター組織
	2	IV	ビジネス辞書編 (ECM)	ビジネスドキュメント、項目定義、資料
	3	V	ビジネス辞書編 (SCM)	ビジネスドキュメント、項目定義、資料
	4	VI	業務モデル(ECM編)	技術情報交換ビジネスモデル集
	5	VII	業務モデル(SCM編)	商取引情報交換ビジネスモデル集
2006 Aのまま	6	VIII	企業間プロセス制御型モデル (先端モデル)	交換プロセスの自動制御を前提としたサプライチェーン会話型モデル集